

高円宮杯第 27 回全日本ユース(U-15)サッカー選手権 神奈川県大会 兼 第 6 回神奈川県 U-15 サッカー選手権大会 要項

1. 名 称 高円宮杯第 27 回全日本ユース(U-15)サッカー選手権神奈川県大会
2. 主 催 公益財団法人日本サッカー協会、一般社団法人神奈川県サッカー協会
3. 主 管 一般社団法人神奈川県サッカー協会第 3 種大会部会
4. 期 日 2015 年 6 月 6 日(土)~10 月 12 日(月)
5. 会 場 神奈川県内各地
6. 出場チーム 第 3 種・準加盟及び女子登録したチームで、参加を希望するチーム
7. 出場資格
 - 1)日本サッカー協会に 2015 年 5 月 31 日までに第 3 種もしくは準加盟チームであること。または、女子登録した加盟チームであること。
 - 2)2000 年 4 月 2 日以降の出生者であること。
 - 3)上記 1)に 2015 年 5 月 31 日までに登録された選手であること。ただし、一家転住等の理由により、上記期限以降に移籍または追加登録した選手が大会参加を希望する場合、第 3 種大会部会が別途承認した場合に限り、大会参加を認める。
 - 4)中学校体育連盟加盟チームは、その学校に在籍し、かつ、本協会の女子加盟チーム登録選手を、移籍手続きを行うことなく、本大会に参加させることができる。ただし、登録している女子加盟チームが本大会に参加している場合を除く。
 - 5)2015 年 5 月 31 日までに登録した選手の移籍を認める。
移籍登録期限は大会開幕前日とし、予選リーグは 6 月 5 日(金)まで。本大会は 8 月 14 日(金)までとする。
 - 6)日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一クラブ内の別のチームに所属する選手を移籍手続きを行なうことなく本大会に参加させる事ができる。この場合同一クラブ内のチームであれば、複数のチームから選手を参加させることも可能とする。なお、その際、「クラブ申請承諾書」を試合会場で提示すること。
なお、本項の適用対象となる選手の年齢は第 4 種年代(6 年生のみ)とし、第 3 種およびそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
 - 7)選手数が不足している同種別の複数チームによる「合同チーム」の大会参加については、次の条件を満たしている場合においてのみ認めることとする。
但し 11 名以上の登録選手を有するチーム同士の合同は不可とする。
 - ①合同するチームおよびその選手はそれぞれ上記 1)および 2)を満たしていること。
 - ア)極端な勝利至上主義を目的とする合同ではないこと。
 - イ)大会参加申込みの手続きは、それぞれのチーム代表者が協議の上、代表チームが行う。
 - ウ)合同チームとしての参加を県第 3 種大会部会が承認した場合。
 - 8)県大会から本大会に至るまでに、同一選手が異なるチームへ移籍後、再び同一大会に参加する事はできない。また、同一チームからの複数チームの参加は認めない。
 - 9)優勝から第 3 位までのチームに高円宮杯第 27 回全日本ユース(U-15)サッカー選手権関東大会出場権を与える。なお、神奈川県 U-15 リーグのトップリーグで 1 回戦総当たりの時点で 1 位のチームは神奈川県大会参加を免除する。

高円宮杯第 27 回全日本ユース(U-15)サッカー選手権 神奈川県大会 兼 第 6 回神奈川県 U-15 サッカー選手権大会 競技規則

1) 組合せについて

1. トーナメント方式とし、2014/2015 神奈川県(U-15)サッカーリーグ 1st ステージの成績を参考に抽選にてシードチームを決定する。
2. 神奈川県 (U-15) サッカーリーグ戦に参加していないチームは、4~5 チームの予選リーグ戦を行い、各ブロック上位 2 チームがトーナメント方式の大会に参加できる。
3. 関東ユース(U-15)サッカーリーグ 1・2 部のチームは、神奈川県大会参加を免除する。
4. 全国中学校サッカー大会及び日本 CY サッカー選手権(U-15)に出場したチームのシードはしない。
5. 試合会場は神奈川県全域とし、地域性は考慮しない。

2) ①試合時間はベスト 16 まで 70 分(インターバル 10 分)とし、ベスト 8 からは 80 分(インターバル 10 分)とし、勝敗が決しないときは PK 方式により次回戦に進出するチームを決定する。

②予選リーグの順位決定については、以下の通りとする。

- A: 勝点は、勝ち=3 点・引き分け=1 点・負け=0 点とし、勝点の多い方を上位とする。
- B: 勝点と同じ場合は、当該チームの成績で上位を決める。
- C: 上記 B で引き分けの場合は、得失点の多い方を上位とする。
- D: 上記 C で得失点と同じ場合は、得点の多い方を上位とする。
- E: 上記 D で得点も同じ場合は、抽選とする。

3) ルールは最新の日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」による。

- 4) 雷等の荒天で試合が中断した場合、その試合が後半 25 分を経過し中断となり再開不可能となった場合は、その時点での結果を持って試合は成立したものとみなす。(同点の場合は抽選とする)
それ以前に中断し再開不可能な場合は、改めて残り時間について試合を行うものとするが、諸事情で残り時間の試合が不可能な場合は抽選で決定する。なお、残り時間の試合を行う場合のメンバーは、中断時の選手とする。
- 5) 試合毎の選手登録は所定のチーム登録用紙に最大 25 名の選手を記載し、試合開始 30 分前迄に、先発選手 11 名には背番号に“○”を付け、2 部(ベスト 16 からは 3 部、さらに放送を行なう会場では 4 部)を本部に提出する。
・所定のチーム登録用紙で試合毎に登録できる人数は、スタッフ 6 名、選手 25 名とする。スタッフは原則として 18 歳以上(高校生を除く)とする。
- 6) 試合開始前の整列時に出場選手が 11 名に満たない場合は失格とし、それまでの試合結果は取り消すものとする。
- 7) 各選手は試合開始前に写真付き選手証を持参し整列する。なお、選手証を提出できない、または選手証に写真のない選手の出場は認めない。
電子登録証(写真が登録されたもの)をコピーし、確認できる場合は出場を認めるものとする。
ただし、以下の場合、下記の書類を提示した場合について、例外としてその選手の出場を認める。
- 8) 交代に関しては、試合毎に登録した最大 25 名の選手の中から最大 7 名の交代が認められる。
なお、選手交代のすべての機会に交代用紙を使用する。(交代用紙はチームで用意する。)
- 9) 本大会において退場を命じられた選手は、次の 1 試合に出場できず、違反行為の内容によっては、それ以降の処置を本大会規律委員会において決定する。
- 10) 本大会期間中に警告を 2 回受けたものは、次の 1 試合に出場できない。
- 11) 会場では試験的にテクニカルエリアを採用する。
- 12) 決勝戦では、60 分前に運営役員の指定する場所でマネージャーズミーティングを実施する。
- 13) 審判について、ベスト 32 までは主審・副審とも有資格者の帯同審判員にて実施し、ベスト 16 からは主審・副審とも協会派遣で行なう。
※帯同審判員は高校生以上の有資格者とし、該当試合前に写真付審判証を本部に提示すること。
※すべての試合において、中学生の審判は認めない。(予選リーグについても同様とする)
※審判員は、試合開始前に必ず審判打合せを行い、審判用具(カード類)の確認も行うこと。
- 14) 本部担当は、18 歳以上とする。(高校生不可)なお、本部担当者は第 4 の審判も兼ねるものとする。
- 15) 本大会監督会議で大会用試合球を支給するので、大会終了まで使用するものとする。
- 16) 参加費は別紙を参照し、期日までに確実に振り込むこととする。
- 17) 有料の会場を使用した場合の使用料は、原則として参加チームが負担するものとする。
- 17) ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ストッキング)は、正・副 2 組の異なる色のユニフォームをチーム登録用紙に記載し、必ず試合に持参する事。尚、ユニフォームには背番号と前番号が付いている

こと。(GKも同様とし、FPと違う色のユニフォームを2セット用意すること)。また、審判員が通常着用する黒のシャツと類似するものは使用できない。ユニフォームの広告表示は、日本サッカー協会ユニフォーム規程に基づき、承認された場合のみ認められる。試合会場に承認書を持参すること。なお、中学校体育連盟加盟チームは、その規程により広告は認めない。

- 18) ユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと主審が判断した時は、主審と両チームの監督の立会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- 19) 登録選手の背番号は試合毎の登録とする。
- 20) 試合会場では会場担当(会場提供チーム等)の指示に従い、サッカー関係者としてのマナーに十分心がけること。なお、会場内はすべて禁煙とし、サンダル履き等の軽装でベンチに入らないこと。
- 21) ベンチには当日登録した選手及びスタッフのみが入る事が出来る。ベンチ内の選手及びスタッフは、原則として試合中の選手と違う色のビブス等を着用し、プレー中の選手と判別をしやすいこと。
- 22) ベンチの使用について、対戦表左側のチームがピッチに向かって左側のベンチ、対戦表右側のチームがピッチに向かって右側のベンチを使用すること。
- 23) 飲水タイムは、気象状況に応じて導入する。飲水タイムではミスト発生器等は使用出来ない。
- 24) 監督会議以降の失格及び辞退等による参加費の返還はすべての場合において行わない。
- 25) 日程調整について、学校行事(テスト及び運動会)は、同回戦の期間内に消化可能な場合は考慮するものとする。運動会の予備日については考慮できない。なお、同回戦の期間内に自チームの都合で消化が不可能な場合、考慮しない。また、会場提供の状況から調整が不可能な場合も考慮できない。
- 26) 保護者等の応援を、ベンチ脇やベンチ裏で行うことを禁止する。指定された場所で応援するよう自チーム応援者に周知すること。なお、試合毎の登録選手以外の選手は指定された応援場所で応援すること。また、試合前、ハーフタイム、試合終了後に試合毎に登録されたスタッフ・選手以外がベンチに近づくことはできない。
- 27) ウォームアップの場所、ボールの使用の有無は、会場担当の指示に従うこと。
- 28) サッカーのイメージアップのため、会場において選手が袖なしのアンダーシャツのままであることを禁止する。※スタッフも同様とする。
- 29) 試合終了後は、次の試合の為に速やかにベンチから退出し、円滑な運営に協力すること。
- 30) 選手は、前の試合が終了後、直ちに本部前に集合すること。
- 31) その他、試合参加時の選手の服装、ゴミの持ち帰り、最終チームの会場整備、応援者等の迷惑駐車禁止、指定箇所以外への立ち入り禁止等は、選手・応援者に周知し確実に守ること。
- 32) フェアプレー精神の育成・向上のため、フェアプレー賞の盾を授与する。フェアプレー賞はチーム単位とし、ベスト4に進出したチームの中から選考される。
- 33) 雷事故防止については、別紙ガイドラインを遵守する。
- 34) 本大会で別紙配布の確認事項の扱いは、競技規則に準じるものとする。
- 35) 参加料は、参加チーム数により算出するものとし、予選リーグと本大会で別に徴収する。そして、予選リーグから本大会へ進出したチームは、さらに参加料を支払うものとする。
- 36) 本大会に規律委員会を組織する。委員長は第3種大会部長が兼任する。規律委員会の委員人選については委員長に一任する。
- 37) 大会規定に違反し、その他不都合な行為のあった時は、そのチームを失格とする。
- 38) 本大会要項、競技規則に規定されていない事項については県第3種大会部会において協議の上決定する。
- 39) いかなる場合でも、有資格者の審判員の元で試合を行った場合は、再試合を行わない。